



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月5日

上場会社名 株式会社ロジネットジャパン

上場取引所 札

コード番号 9027 URL <https://www.loginet-japan.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 橋本 潤美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営企画管理 本部長 (氏名) 久保田 優

TEL 011-251-7755

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	59,315	0.2	3,010	2.5	3,040	1.3	2,158	8.9
2025年3月期第3四半期	59,451	5.2	3,086	8.7	3,001	7.1	1,982	14.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,651百万円 (37.3%) 2025年3月期第3四半期 1,931百万円 (5.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	419.49	
2025年3月期第3四半期	367.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	38,589	21,493	55.7
2025年3月期	36,194	21,040	58.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 21,493百万円 2025年3月期 21,040百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		60.00		60.00	120.00
2026年3月期		65.00			
2026年3月期(予想)				70.00	135.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,500	2.9	3,700	0.9	3,560	2.6	2,260	0.5	443.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	5,740,000 株	2025年3月期	5,740,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2026年3月期3Q	809,016 株	2025年3月期	397,560 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期3Q	4,930,984 株	2025年3月期3Q	5,389,069 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結会計期間における経営環境は、雇用や所得環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調で推移している一方で、燃料価格の高止まりや、輸送資材の仕入れ単価の高騰を中心にコスト負担が引き続き増加するなど、依然として取り巻く環境は厳しく、加えて、米国の関税政策の影響や地政学的リスクなどにより、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは2025年度から新たに「中期経営計画2025-2027」をスタートさせ、4つの営業方針である、「L N J E X」、「独自商品の拡販」、「国際物流事業」、「E C物流事業の拡充」を中心とした営業活動の推進により営業収益の拡大を進めるとともに、車両の適正配置など輸送体制の見直しと強化や、業務のIT化効率化による収益力の強化に取り組んでまいりました。

「中期経営計画2025-2027」の策定にあたり、当社グループの強みである全国を網羅した輸送ネットワークと多様な輸送モードを活用し、お客様が抱える物流課題に対応するL N Jグループの輸送サービスについて、強みやサービス内容の意味を込め「L N J E X」と名称を設定しました。特に、L N Jグループが得意とするJ Rコンテナ輸送・トラック輸送・フェリー輸送などによる長距離輸送において、労働時間規制、改正物流法への対応策としてモーダルシフトやスイッチ運行を提案するなど、「L N J E X」により、お客様に最適な輸送サービスを全国エリアで提供することで全国での貨物取り扱いの拡大を推進してまいります。

加えて、当社独自商品であるD D ロジによるコスト削減・省力化・CO2削減を実現する物流改革の提案や、D D パレットを使用した農産物、海外輸送の取り扱いを拡大するとともに、「さくらボックス」による単身向け引越サービスを提供する引越事業の拡販、国際物流事業への本格参入、E C物流事業の強化、輸送力維持強化のための料金改定の推進などにより収益目標の達成を目指してまいります。

これらの営業面における取り組みに加え、当社グループでは、人財投資を強化する方針のもと、処遇改善や社内制度の整備を進めてまいりましたが、2025年度は、4月より大卒初任給の35万円への引き上げを実施いたしました。この水準は、同業他社のみならず、大手優良企業と比較しても高い水準となりますが、当社グループの将来を担う優秀な人財を確保するための施策であり、大卒初任給の引き上げ、および昨年度に引き続き実施しているグループ従業員の更なる処遇改善は、当社グループの事業拡大に向けた必要な先行投資と位置付けております。「中期経営計画2025-2027」に基づき、さらなる事業拡大に向け、多様な人財を確保する体制の構築を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、以下のとおりです。

	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益 (百万円)	59,451	59,315	△136	△0.2
営業利益 (百万円)	3,086	3,010	△76	△2.5
経常利益 (百万円)	3,001	3,040	39	1.3
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	1,982	2,158	175	8.9

当第3四半期連結会計期間の営業収益は、大手取引先の取り扱い数量の増加影響がある一方で、東日本地区の(株)LNJ小泉における取引関係見直しによる減収、および農産物をはじめとした例年になく猛暑による取り扱い数量の減少などにより、前年同期比1億36百万円減(△0.2%)の593億15百万円となりました。利益面については、上記の減収影響に加え、輸送原価の上昇や、昨年度まで行ってきた人財投資の取り組みを拡大したことによる費用増加影響により営業利益は前年同期比76百万円減(△2.5%)の30億10百万円となりましたが、経常利益は受取補償金の計上等により前年同期比39百万円増(+1.3%)の30億40百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益については、政策保有株式の売却等により前年同期比1億75百万円増(+8.9%)の21億58百万円となりました。

地域別セグメントの業績は、以下のとおりです。

<北海道地区>

	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益 (百万円)	17,307	16,980	△327	△1.9
セグメント利益 (百万円)	833	670	△162	△19.5

<東日本地区>

	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益 (百万円)	25,081	24,147	△934	△3.7
セグメント利益 (百万円)	1,316	1,456	139	10.6

<西日本地区>

	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減	増減率 (%)
営業収益 (百万円)	14,136	15,343	1,207	8.5
セグメント利益 (百万円)	579	526	△53	△9.2

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から23億94百万円増加し、385億89百万円となりました。この主な要因は、大手取引先の取り扱い数量の増加に伴い車両投資を進めたことによるものです。

また、負債は、上記車両投資や自己株式取得のための借入金増加などにより、前連結会計年度末から19億41百万円増加し、170億96百万円となりました。これらの結果、純資産は214億93百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末から2.4ポイント低下し、55.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月8日発表値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	377	1,440
受取手形	151	109
電子記録債権	504	588
営業未収入金及び売掛金	8,614	8,465
棚卸資産	223	255
その他	1,175	1,587
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	11,045	12,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,894	2,880
機械装置及び運搬具（純額）	9,312	9,797
土地	7,505	7,548
リース資産（純額）	67	81
その他（純額）	491	441
有形固定資産合計	20,272	20,749
無形固定資産	583	722
投資その他の資産		
投資有価証券	2,094	2,584
繰延税金資産	214	217
差入保証金	1,528	1,407
その他	543	549
貸倒引当金	△87	△87
投資その他の資産合計	4,293	4,671
固定資産合計	25,149	26,142
資産合計	36,194	38,589

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金及び買掛金	4,718	5,226
短期借入金	3,370	4,318
リース債務	24	32
未払法人税等	913	421
役員賞与引当金	28	-
その他	2,554	2,895
流動負債合計	11,610	12,894
固定負債		
長期借入金	2,393	2,691
リース債務	49	58
繰延税金負債	221	467
役員退職慰労引当金	338	404
退職給付に係る負債	334	349
資産除去債務	52	52
その他	154	179
固定負債合計	3,543	4,202
負債合計	15,154	17,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	700	700
利益剰余金	19,519	21,036
自己株式	△766	△2,324
株主資本合計	20,453	20,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	586	1,080
その他の包括利益累計額合計	586	1,080
純資産合計	21,040	21,493
負債純資産合計	36,194	38,589

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収益	59,451	59,315
営業原価	53,659	53,676
営業総利益	5,792	5,639
販売費及び一般管理費	2,705	2,629
営業利益	3,086	3,010
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	64	74
寮収入	34	37
受取補償金	—	90
その他	74	95
営業外収益合計	173	298
営業外費用		
支払利息	37	53
寮支出	134	146
車両除売却損	71	48
その他	15	18
営業外費用合計	259	267
経常利益	3,001	3,040
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	95	365
特別利益合計	95	365
特別損失		
固定資産除売却損	29	63
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	29	63
税金等調整前四半期純利益	3,066	3,343
法人税、住民税及び事業税	1,166	1,170
法人税等調整額	△43	14
法人税等合計	1,122	1,184
四半期純利益	1,944	2,158
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△38	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,982	2,158

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,944	2,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	493
その他の包括利益合計	△12	493
四半期包括利益	1,931	2,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,969	2,651
非支配株主に係る四半期包括利益	△38	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	北海道	東日本	西日本	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	17,307	25,081	14,136	56,526	2,917	59,443
その他の収益	—	—	—	—	8	8
外部顧客への営業収益	17,307	25,081	14,136	56,526	2,925	59,451
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	4,645	570	361	5,576	5,113	10,690
計	21,952	25,652	14,497	62,103	8,038	70,141
セグメント利益	833	1,316	579	2,729	3,019	5,749

(注) 「その他」は、持株会社である当社及び株式会社ロジネットジャパン九州の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金、経営指導料及び九州地区における営業収益であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は2,693百万円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,729
「その他」の区分の利益	3,019
受取配当金の消去	△2,693
その他の調整額	30
四半期連結損益計算書の営業利益	3,086

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	北海道	東日本	西日本	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	16,980	24,147	15,343	56,471	2,835	59,306
その他の収益	—	—	—	—	8	8
外部顧客への営業収益	16,980	24,147	15,343	56,471	2,844	59,315
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	4,451	618	334	5,404	4,829	10,234
計	21,431	24,765	15,678	61,876	7,673	69,549
セグメント利益	670	1,456	526	2,653	2,635	5,289

(注) 「その他」は、持株会社である当社及び株式会社ロジネットジャパン九州の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金、経営指導料及び九州地区における営業収益であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は2,348百万円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,653
「その他」の区分の利益	2,635
受取配当金の消去	△2,348
その他の調整額	69
四半期連結損益計算書の営業利益	3,010

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,395百万円	1,460百万円